

全日本アマチュアナインボール選手権競技規定

第1条 バンキング

- 第1項 ボールの位置は、ヘッドライン内とし、両プレイヤーが同時に行うことが望ましい。
- 第2項 ボールの停止位置が、ヘッドクッションに近い者をバンキングの勝者とする。ボールがポケット内に停止した場合は、ヘッドクッションの延長線に近い者を勝者とし、両プレイヤーのボールがヘッドクッションから等距離にある場合は、再度これを行う。
- 第3項 ボールがスクラッチ、又はロングラインを越えた場合は負けとなる。両プレイヤーが共にこのような状態となった場合は、再度これを行う。
- 第4項 バンキングは必ず反対のクッションに当てなければならない。なお、ロングラインを越えない限り、クッションの入り方、及びその回数については規定しない。

第2条 ブレイク

- 第1項 オープニングブレイクは、バンキングの勝者が選択できる。
- 第2項 2ラック目以降のブレイクは、前ラックの勝者が行う。
- 第3項 手球の位置はヘッドライン内とし、最初に①ボールに当てなければならない。
- 第4項 ブレイクにおけるセーフティショットは一切これを認めない。
- 第5項 ブレイク時のファールの際、相手プレイヤーは、手球をテーブル上の自由な位置に置いてプレイすることが出来る。
- 第6項 ミスブレイクの際、相手プレイヤーは、手球フリーで現状のままプレイするかラックを立て直し、ブレイクすることを選択出来る。
- 第7項 ブレイク時3ポイントルールを採用する。

第3条 得点

- 第1項 ⑨ボールを第4条ファール事項に抵触せずポケットしたプレイヤーに得点が与えられる。
- 第2項 第5条 第3項の通り、1ラック中に3回連続してファールをした場合、相手のプレイヤーに得点が与えられる。

第4条 ファール事項

- 第1項 手球がテーブル上の最小数のボールに当たらない場合。
- 第2項 手球がテーブル上の最小数のボールと他のボールに同時に当たった場合。
- 第3項 手球がテーブル上の最小数に当たった後、いずれのボールもポケットインされずにクッションに当たらなかった場合。
- 第4項 手球がスクラッチした場合。
- 第5項 プレイヤーの身体、衣服等、又キューのタップ部分以外がボールに触れた場合。
- 第6項 ボールがテーブル外に飛び出し、テーブル上に戻ってこない場合。ただし、ボールがテーブルとボール以外の物体に触れた後に戻った場合は、ファールとなる。
- 第7項 ダブルヒット（2度撞き） 2度撞きは全てファールの扱いとする。ただし、手球と最初にヒットさせるべき的球がフローズン（密着）の場合は2度撞きをファールとしない。
- 第8項 両足とも床から離なれた状態でショットした場合。

第5条 ファール事項への対応

- 第1項 ファール事項が起った場合、プレイ権は相手プレイヤーに移る。相手プレイヤーは、手球をテーブル上の自由な位置に置いてプレイすることが出来る。
- 第2項 ファール時ポケットされたボール、及びテーブル外に飛び出したボールは、⑨ボールを除いてテーブル上に戻さない。⑨ボールを戻す場合は、フットスポット上に、又、フットスポットが他のボールに妨害されている場合は、妨害しているボールの後方ロングライン上に密着させて置く。

- 第3項 1ラック中に3回連続してファールした場合、ラックはその時点で終了し、相手プレイヤーの得点とする。ただし、連続した2回目のファール時以降、次のプレイまでに当該のプレイヤーに対して「2ファール」をレフリーは宣告する。

第6条 その他

- 第1項 競技に際して、試合の開始後所定のテーブルにつかない場合、特別な事由（競技役員が認めた事由）を除き、競技委員またはレフリーが計測を開始し5分毎に相手プレイヤーに1ラックのポイントが加算されていくものとする。
- 第2項 競技中のプレイの判定に不服がある場合、プレイヤーは、そのプレイの直後にその旨をレフリーに申し立てなければならない。
- 第3項 スポーツマンシップに著しく反する行為のあるプレイヤーに対し、大会役員はその権限において、失格を命ずることが出来る。
- 第4項 本規定に無きことが発生した場合、大会を主管する役員などで臨機応変にこれを処理する。又、その権限において、本規定の内容に優先して各種事項を決定することが出来る。

第7条 本大会の特別競技規定

- 第1項 本大会はランダムラック・ラックシートを採用する。
- (a) ラックを立てる際は必ずシートの上に乗せること。
 - (b) ブレイク時、先球がテーブルの外に飛び出した場合はセーフとし、飛び出した先球をフットスポットに戻し、現状のままプレイを続行すること。
 - (c) ランダムラックについては「日本プロポケットビリヤード連盟（JPBA）」のローカルルールを採用する。
- 第2項 テーブル上のすべてのボールが停止した後、40秒間をすぎても当該プレイヤーが、プレイを行わない時、又は、相手プレイヤーがファールを侵した後、レフリーが当該プレイヤーに手球を渡してから、40秒間をすぎてもプレイを行わない時、ファールとなる。ファールへの対応は、第5条を適用する。
- 第3項 各級とも、40秒ルールを採用する。
- (a) プレイヤーは、40秒以内に1回のショットをしなければならない。時間内にショット出来なかった場合ファールとなる。ファールへの対応は、第5条を適用する。ただし、第4項のエクステンション（延長）を適用した場合にはこの限りでない。
 - (b) 計測の開始は、ショットの権利が終了したプレイヤーがテーブルの周りにいない状況で台上のボールがすべて停止してからとする。
 - (c) 計測を止めている時は、プレイヤーは本人がプレイしているテーブルを見てはいけないものとする。
 - (d) レフリーは30秒になった時「30秒」であることをプレイヤーに伝えなければならない。（カウントダウンは必要ありません）
- 第4項 各級とも、エクステンション（延長）を採用する。
- (a) エクステンションは、1試合に2回40秒とする。
 - (b) オートエクステンションで行いますので、レフリーはプレイヤーが40秒以内にショットを完了しなかった時、エクステンションを宣告し、そこから40秒を計測すること。時間内にショット出来なかった場合ファールとなる。ファールへの対応は、第5条を適用する。
 - (c) レフリーは30秒になった時「30秒」であることをプレイヤーに伝えなければならない。（カウントダウンは必要ありません）

第8条 プッシュアウトルール

- 第1項 各級とも、プッシュアウトルール（旧シュートアウトルール）を採用する。